

News Release

(別添)

2020年8月27日

NITE (ナイト)

独立行政法人製品評価技術基盤機構

北陸支所



おうちキャンプを楽しく安全に ～使い方・捨て方・選び方～

1. 事故の発生状況

2015年度から2019年度までの5年間にNITEに通知された製品事故情報^{※1}のうち、北陸3県（富山県、石川県及び福井県）でキャンプ用品^{※2}の事故は8件^{※3}ありました。

(1) 県別の年度別事故発生件数（表1）

表1 キャンプ用品の事故の県別の年度別事故発生件数（2015～2019年度）

発生年度		富山県	石川県	福井県	合計
2015年度		1	0	0	1
2016年度		1	1	0	2
2017年度		0	1	0	1
2018年度		1	1	0	2
2019年度		0	0	2	2
合計	事故件数	3	3	2	8
	火災件数	[1]	[3]	[2]	[6]

(※1) 消費生活用製品安全法に基づき報告された重大製品事故に加え、事故情報収集制度により収集された非重大製品事故やヒヤリハット情報（被害なし）を含む。

(※2) キャンプの際に使用される機会の多い製品（ガスカートリッジこんろ、ガストーチ、携帯発電機など）を対象としている。

(※3) 重複、対象外情報を除いた事故発生件数

(2) 県別の被害状況別事故発生件数（表2）

表2 キャンプ用品の事故の県別の被害状況別事故発生件数（2015～2019年度）^{※4}

被害状況		富山県	石川県	福井県	合計
人的被害	死亡	0	0	0	0
	重傷	0	0	0	0
	軽傷	0	1	0	1
物的被害	拡大被害	1	2	2	5
	製品破損	0	0	0	0
被害なし		2	0	0	2
合計		3	3	2	8

(※4) 表2において人的被害と物的被害が同時に発生している場合は、人的被害の最も重篤な分類でカウントし、物的被害には重複カウントしない。製品本体のみの被害（製品破損）に留まらず、周囲の製品や建物など

にも被害を及ぼすことを「拡大被害」としている。

2. キャンプ用品の事故の主な事例

(1) カセットこんろのカセットボンベの装着ミスにより火災が発生した事故

・ 2018年12月（石川県、男性、50歳代、拡大被害）

【事故の内容】

カセットこんろにカセットボンベを装着して点火したところ、カセットこんろ及び周辺を焼損する火災が発生した。

【事故の原因】

使用者がカセットこんろにカセットボンベを装着する際、ボンベのフランジ切欠きを下向き（本来は上向き）に装着したために、液化状態の燃料が製品内部に噴出し、点火動作により引火したものと考えられる。

(2) ガストーチ使用中にカセットボンベが爆発し周囲に居た子供が火傷をした事故

・ 2016年7月（石川県、女性、5～9歳、軽傷）

【事故の内容】

露店でガストーチにカセットボンベを接続して使用中、爆発を伴う火災が発生し、周辺を破損し、1名が火傷を負った。

【事故の原因】

ガストーチを点火する際、点火ボタンを使用せず点火棒を用いて行ったため、自動的に一次空気取入口が開放されず異常燃焼が発生した。ガストーチを水の入ったバケツに入れ消火しようとしたが、消火できなかったためカセットボンベが加熱されて爆発に至ったものと考えられる。なお、取扱説明書には、「点火時はボンベを直立状態でガスを出し、トーチ本体の点火ボタンを押して点火する。」旨、記載されている。

（本件に関する問い合わせ先）

〒920-0024 石川県金沢市西念3-4-1

独立行政法人製品評価技術基盤機構

北陸支所 担当者 樋口、塚谷

電話：076-231-0435